

2021年度第2回理事会報告

開催日時:2021年7月17日(土) 18:00 ~ 20:10

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、木原活信会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて木原会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2021年度第2回理事会」を開催するとの宣言があった。

なお、定款第47条に則り、議事録署名人として木原会長、秋元監事、市川監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より別冊資料に基づき説明があった。審議の結果、27名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 学会賞審査委員会に関する諸案件について

学会賞審査委員会担当岩井理事より、委員の負担軽減に関する課題について説明があり、審議の結果、継続案件として協議を重ねていくことが満場一致で承認された。

第3号議案 選挙管理委員会の設置および委員の選出

総務担当木下理事より、第7期代議員選挙管理委員会を設置し、理事1名および正会員4名に委員を委嘱するとの説明があった。審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 学会賞審査委員の再任手続きおよび新任の選出

総務担当木下理事より、次期学会賞審査委員の委嘱について説明があり、審議の結果、継続委員3名および新規委員3名の計6名に委員委嘱をすることが満場一致で承認された。

第5号議案 学会のあり方検討ワーキンググループについて

総務担当木下理事より、学会のあり方検討ワーキンググループの立ち上げおよび活動方針について提議があり、審議した結果、満場一致で承認された。

第6号議案 第70 回大会に向けた学会企画について

総務担当木下理事より、次年度の第70回秋季大会にて周年企画を実施することになったため、その準備等について説明があった。引き続き理事会とアーカイブ化推進委員会が協力して準備を進めていくことが満場一致で承認された。

第7号議案 Zoom の契約更新について

総務担当木下理事より、Zoomの契約更新について、今年度の契約内容のまま次年度も契約を更新する案が提議された。審議した結果、事前に各地域ブロックの意向を確認したうえで、契約を更新することになった。

第8号議案 その他

その他の審議事項は特になし。

IV. 報告事項

1. 2021年度会員動向

総務担当木下理事より、2021年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 2021年度定時社員総会報告

総務担当木下理事より、2021年5月30日に開催された2021年度定時社員総会での出席者数および議事録について配付資料に基づき報告があった。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当岩崎理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当柴田理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

和気副会長より、第69回秋季大会で実施する留学生と国際比較研究のためのワークショップの準備状況について報告があった。日中韓三か国会長会談は8月4日にオンラインで開催予定である。10月22日-23日開催の韓国社会福祉学会秋季共同学術大会、10月9日-10日開催の中国社会科学福祉研究専門委員会年次総会に参加する自由研究発表者の募集を行ったとの報告があった。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当岩井理事より、2021年度学会賞の審査経過および授賞作について配付

資料に基づき報告があり、今年度の学会賞授賞が満場一致で承認された。授賞者および授賞作は以下の通りである。

-----*-----

学術賞：西崎 緑『ソーシャルワークはマイノリティをどう捉えてきたのか
——制度的人種差別とアメリカ社会福祉史』勁草書房

学術賞：平野 隆之『地域福祉マネジメント
——地域福祉と包括的支援体制』有斐閣

奨励賞(単著部門)：田中 智子『知的障害者家族の貧困
——家族に依存するケア』法律文化社

奨励賞(論文部門)：該当者なし

-----*-----

今回、審査委員の自著が審査対象図書に含まれ、審査の結果、学術賞の授賞作となったが、当該の審査委員は自著を含めて図書の審査には関与せず、評価の場にも同席しなかったことを確認した。

7. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当伊藤理事より、学会公式Twitterの運用を6月より開始し、学会ホームページに掲載されている内容を中心に、週1回発信しているとの報告があった。また、学会ニュース87号の発刊後、中国語・韓国語・英語の翻訳版を作成し、学会ホームページに掲載予定である。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当空閑理事より、学会誌『社会福祉学』、全国大会資料および写真のデジタル化について報告があった。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当保正理事より、第69回秋季大会にて実施予定のスタートアップ・シンポジウムの準備状況について報告があった。若手会員の交流の場としてCS-NETの開設準備中であり、年度内の開設を目指して事務手続きのフローチャートや運用規約等の作成を行っている。また、2か月毎に、初期キャリアにある若手会員によるリレーエッセイを学会ホームページに掲載している。

11. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：2021年6月3日に総会および記念講演をオンライン開催した。また、研究助成金事業の募集中である。
- ・東北地域ブロック：東北地域ブロック60周年記念事業として記念誌を発刊し、関係各所に送付予定である。研究大会を11月6日にオンラインにて開催予定であり、学会ホームページに開催要項や参加申込受付等を掲載した。

- ・関東地域ブロック:機関誌『社会福祉学評論』の編集規程および執筆要項の編集方針等の見直しを行った。また、奨励賞の審査委員会を立ち上げた。今年度の研究大会は2022年3月の開催を予定している。
- ・中部地域ブロック:報告事項は特になし。
- ・関西地域ブロック:7月22日に理事会を開催し、年次大会の検討等を行う予定である。
- ・中国四国地域ブロック:2021年7月10日に第52回岡山大会をオンライン開催し、多数の参加があった。第18回フォーラムの企画および準備を進めている。
- ・九州地域ブロック:2021年6月5日に第62回研究大会(開催校:西南学院大学)をオンライン開催した。総会を书面決議により実施し、結果を集計後、7月中に会員へ報告予定である。

12. その他(後援依頼、関連団体からの報告、他)

・後援(協賛)依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、3件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

湯澤副会長より、2021年6月27日に日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会主催の公開シンポジウムを開催したとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

和気副会長より、こども家庭福祉士の資格創設に対するSCS研究協議会の活動等について報告があった。

3) 社会政策関連学会協議会

木下理事より、7月24日に会議が開催され、次期役員等の選出が行われるとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2022年1月29日にシンポジウムを開催予定であるとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

保正理事より当面の予定はないとの報告があった。

議長は、議事終了を告げ、20時10分に理事会を解散した。

以上